

佐賀県一住みやすいまちへ

武雄市長 樋渡 啓祐

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、清々しい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年したこと

昨年は、市民の皆様との永年にわたるご協力のもと、悲願であったJR武雄温泉新駅が全面開業し、さらに九州新幹線西九州ルートが9年後の開業を目指して着工されるなど、交流拠点都市として着実に前進した年となりました。

また、地域資源PRと武雄ブランド化への取り組みは、市民の皆さまのご協力のもと、レモングラス関連の商品化、被害対策にあわせた武雄産いのしし肉の有効活用などにより地域活性化に効果を発揮しています。武雄は元気があっていいね、という声がよく聞かれ、賑わいの創出と持続を実感しています。文化に目を移せば、武雄温泉通りの空き店舗を活用し、市内の窯元の陶器、磁器など多彩な「武雄焼をアピールする「緑青」のオープンや「旧武雄邑主鍋島氏別邸庭園(御船山楽園)」の国

登録記念物への指定など、武雄古来の歴史・文化に光が当たる年でもありました。

市民病院に関しては、医療法人財団池友会及び社団法人巨樹の会のバックアップのもと経営改善を図り、市民の皆さまの医療・福祉の維持向上を果たすことができました。

今年のこと

地域医療につきましては、市民病院の機能は移譲後の新病院に引き継がれます。今後とも市民の皆さまとともに、医療・保健事業の維持・向上に取り組んでまいります。

まちづくりでは、JR武雄温泉新駅を中心とした中心市街地の一体的な活性化に取り組むことに加え、将来、全国の新幹線ネットワークに組み込まれる利点を活かして、観光やビジネス、新病院と温泉や宿泊施設と絡めた医療のまちづくりなど、市民の皆様と知恵を出し合いながら取り組みを進めてまいります。雇用の場の確保につきましては、昨年に引き続き、本市の経済活性化につながる企業誘致を推進するとともに、県との共同



開発による新産業集積エリア事業を平成23年春の分譲に向けて進めてまいります。

文化面では、三本の大楠、御船山、黒髪山などの自然や武雄の古き良き歴史と文化を再認識するため市民参加の協議会を立ち上げ、武雄に今あるものを活かして文化歴史を見直し後世に引継ぐ活動を進めてまいります。

ぬくもりのある武雄

依然として非常に厳しい財政状況下ではありますが、前述の政策のほか、福祉、環境、教育などの諸課題に取り組む、誰もが安心して暮らせる「ぬくもりのある武雄」、「佐賀県一住みやすいまち」の実現に向けて全力で尽くしてまいりますので、皆様のご支援・ご理解をお願い申し上げます。

新しい年が市民の皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますよう心から祈念申し上げます、年頭にあたりましてのご挨拶といたします。



もくじ

第2回武雄市長杯ファミリーフットサル交流会	4
武雄市長選挙・武雄市議会議員選挙	6
確定申告・住民税申告に備えて	7
リサイクル・動脈硬化検診	8
みんなのあんしん介護保険	9
保健連絡協議会だより	10
各種おしらせ	18~21
武雄市民病院	22~23



初

年頭のあいさつ

武雄市議会議長 杉原 豊喜



新年あけましておめでとう
ございます。年頭に当たり議
会を代表してご挨拶申し上げ
ます。

皆様には、ご家族おそろい
でご壮健にて輝かしい希望に
満ちた新年をお迎えのことと
心からお慶び申し上げます。

新武雄市が誕生して早4年
になろうとしております。武
雄市議会といたしましても市
民の皆様方のご理解とご支援
をいただきながら、安全で安
心して住み続けることのでき
るまちづくりに努めてまいっ
たところでございます。

これからも、市民の皆様の
声を十分反映しながら住みよ
い地域づくり、活力あるまち
づくりに鋭意努力してまいる
所存でございます。

さて、武雄市民病院につき
ましては、医療法人へ移譲さ
れますが、武雄市民病院の機
能はそのまま引き継がれるこ
とによって、地域医療は確保
されますので、市民の皆様も

安心していただけるものと思
っております。

議会といたしましても、移
譲後の病院については注視を
していきたいと考えております。

また、昨年12月には、JR
武雄温泉駅完成を祝し記念式
典が執り行われました。今回
完成した武雄温泉駅北口には、
新たに「観光交流センター」
も整備され、武雄市を訪れる
観光客等の皆様方の玄関口と
して、また観光情報の発信地
としての活用が大いに期待さ
れております。

市長の具約の一つでもあり
ました固定資産税につきまし
ては、税率を引き下げ平成22
年度から適用されるようにな
りました。

昨今の地方議会を取り巻く
情勢は、地方分権の推進により
自治体の権限・役割が物理的
に増大するとともに、事務事
業の処理においても自主性・
自立性が強化され、これに呼
応して、住民代表機関として

の議会の役割も、質・量とも
に充実が求められているとこ
ろでもございます。

議員定数については、当市
での厳しい財政事情から行政
改革を求められている中で、
12月定例会において議員提案
により、議員定数の削減を行
ったところであります。

武雄市議会といたしましても、
引き続き創意工夫を重ね、よ
り身近で開かれた議会を目指し、
時代の趨勢とともに多様化す
るニーズに 대응するために、今
後更なる努力を要するものと
気持ち新たにしているところ
であります。

期待と可能性を秘めたすば
らしい武雄市を創りあげるため、
今後とも皆様方の尚一層のご
支援、ご鞭撻をお願い申し上
げますとともに、ご健勝とご
多幸を心からお祈り申し上げ、
新年のご挨拶とさせていただきます。

